学校番号	T1206

令和8年度 理科

教科	理科	科目	(通)化学基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高校化学基礎 visual (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養い、日常生活にどのように関わっているかを考えましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】
・物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則の理解すること。
・日常生活と関連付けて、身近な自然の事物・現象についての知識を身につけること。
【思考力、判断力、表現力等】
・自然現象について、科学的に探究し、表現する力を養うこと。また、探究する際に、見通しを立てて活動ができる力を養うこと。
【学びに向かう力、人間性等】
・ 日常生活にある疑問について着目し、自らその疑問を解決しようとしていく姿勢を身につける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a: 知識及び技能	b: 思考力、判断力、表現力等	c: 学びに向かう力、人間性等
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら,物質とその変化について理解する。また、科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する基本的な技能が身についている。	物質やその物質の変化についての基礎的な知識を用いて、身のまわりにある自然現象について、自分なりに思考し、説明することができる。	化学が自然現象とどのように関係するかに興味を持つこと。また、その自然現象が社会とどのような関わりを持つかについて考えることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	学(c)
後期	物質の探究	純物質と混合物 混合物の分離と精製 元素、単体と化合物 元素の確認 熱運動と物質の三態	a:純物質、混合物といった基礎的な知識を理解している。 b: 純物質と混合物の違い、また単体の違いについて説明できることができる。 c: 身のまわりにある物質に興味を示す姿勢。	プリント類 定期考査	プリント類 定期考査	プリント類 学習姿勢
	物質の構成粒子	原子の構造と同位体 電子配置 イオン 周期表	a:原子、イオンの構造についての基礎的な知識を理解している。 b:原子の構造、また原子がイオンになる仕組みについて説明することができる。 c:様々な原子があることに興味を持つ姿勢。	プリント類 定期考査	プリント類 定期考査	プリント類 学習姿勢
	イオン結合	イオン結合 イオン結晶 イオン結合からなる物質の利用	a:イオンについての基礎的な知識の理解。 b:イオン結合について説明することができる。 c:身のまわりのイオン結合を見つけることができる。	プリント類 定期考査	プリント類 定期考査	プリント類 学習姿勢
	共有結合	分子と共有結合 構造式 電気陰性度と分子の極性 分子間力と分子結晶 共有結合の結晶と高分子化合物	a:分子についての基礎的な知識の理解。 b:分子の結合の仕組みと、極性、分子間にはたらく力について説明することができる。 c:身のまわりにある共有結合を見つけることができる。	プリント類 定期考査	プリント類 定期考査	プリント類 学習姿勢
	金属結合	金属結合と金属 金属結合からなる物質の利用	a:金属の結合の仕組みについて理解。 b:金属結合の仕組みを説明できる。 c:身のまわりの金属に興味を持つ。	プリント類 定期考査	プリント類 定期考査	プリント類 学習姿勢
	物質量と化学反応式	原子量･分子量･式量 物質量と質量 物質量と気体の体積 溶液の濃度 化学反応式 化学反応式と量的関	a:原子量や物質量といった基礎的な知識の理解。 b:原子量や分子量をもとに、物質量の計算ができるようになる。そこから量的関係についても説明することができる。 c:化学反応式をもとに、身のまわりに起こっている化学反応に興味を持つ。	プリント類 定期考査	プリント類 定期考査	プリント類 学習姿勢

	酸と塩基	酸と塩基 酸･塩基の価数と強弱 水素イオン濃度とpH 酸･塩基の希釈とpH の測定 中和反応と塩 塩の性質と反応 中和反応の量的関係と中和滴定 中和滴定と滴定曲線	a:酸と塩基の違いを理解している。また酸と塩基がお互いに性質を打ち消しあう中和について理解する。 b:酸と塩基の違いの説明ができる。また、中和反応の量的関係についての計算ができるようになる。 c:身のまわりにある酸や塩基が何に使われているのかに興味を持つ。またその使われている物について調べる。	プリント類 定期考査	プリント類 定期考査	プリント類 学習姿勢
	酸化還元反応	酸化と還元 酸化数と酸化剤･還元剤 酸化剤と還元剤の反応 酸化還元反応の量的関係 金属のイオン化傾向 金属の反応性 電池 金属の製錬	a:酸化と還元についての基礎的な知識の理解。 b:酸化と還元の違いについて説明することができる。酸化還元反応の量的関係についての計算が自分でできるようになる。 c:身のまわりにある酸化還元反応について興味を示し、自分から調べようとする姿勢。	プリント類 定期考査	プリント類 定期考査	プリント類 学習姿勢

※表中の観点について a: 知識及び技能 b: 思考力･判断力･表現力等 c: 学びに向かう力、人間性等